

# 冬山レスキュー講習会 クラス2

2012年1月27～29日 群馬県 土合山の家  
(社)日本山岳協会 遭難対策委員会 町田

## 第1日

1. 開講式、(全体) 13:00～
2. 雪崩に関する講義(全体) 13:30～  
JAN 出川講師による講義
3. オリエンテーション、講義 19:30～
  - (1)オリエンテーション 班分け、研修内容、時間割の説明と確認
  - (2)低体温症について メカニズムと予防、対策
  - (3)実技パッケージング ツェルトを使つての梱包 ストレッチャの紹介

## 第2日

1. 雪崩予防復習:スルリテテスト 8:30～  
ショベルを使ったコンプレッションテスト(弱層検査) 客観性のあるテストである。
2. アバランチトレーニング 雪崩に対応した一連の動作を学習する 9:30～
  - (1)トランシーバ搜索 電波特性、搜索方法の学習。
  - (2)プロービング プローブの種類、使い方について学習。
  - (3)掘り出し ショベルによる掘り出し方法について学習。
3. シェルターについて 13:00～  
スノーマウントとピットの作成 悪天候から一時的に回避するための避難場所や、搜索の一時的拠点として使用。
4. ロープワーク 14:30～
  - (1)雪上での支点
    - 1)スノーピケットの種類と打ち方 支点を埋めるためのプラトーの作製、ピケットの打ち込み角度、プラトーの強度と深さ。
    - 2)土嚢、芝の支点について 頭くらいの大きさになるよう土嚢に雪を詰める。  
細い芝を束ねての支点はスリングで全体をハーフピッチ(いわし)で束ねる。
    - 3)流動分散 3点からの流動分散を行う。直接ロープを使いインラインフィギュアノットによる分散とスリングによる固定。
    - 4)立ち木、柴からの支点の取り方
  - (2)ローダウンと引き上げシステム  
直引きと1/3システム、ローダウンでの支点、立ち木の利用(クリップコンティニューアスピレー)、障害物の回避方法。

## 第3日

1. シミュレーション 8:00～
  - (1)操作手順の復習 ビデオによる説明
    - 1)二次遭難の回避 まずは落ち着く。メンバーの確認、リーダーの設定、逃げ道の確保。
    - 2)初動パトロール 遺留品の確認、地形からの判断、埋没位置の想定。
    - 3)アバランチトランシーバ搜索 搜索範囲の絞込み。なるべく習熟している者が最後の絞込みを行う。
    - 4)アバランチプローブ(2点、スパイラルプローブ) プローブによる搜索。掘り出し、応急処置の準備。
    - 5)遭難者の掘り出し V字コンベア 頭の特定と気道の確保、早期保温、搬送可否の判断。
  - (2)状況説明 遭難発生現場の説明、各班による役割手順等の打ち合わせ。
  - (3)シミュレーション開始 前日の内容について一連の流れをシミュレーション。
2. まとめ ～13:00
  - (1)片付け
  - (2)シミュレーションの検証、まとめと反省、質疑応答
  - (3)アンケート記入

以上